

都道府県名	奈良県
-------	-----

I 学校の概要（平成15年4月現在）

学校名	奈良市立登美ヶ丘中学校					
学 年	1年	2年	3年	障害児学級	計	教員数
学級数	4	3	4	2	13	23
生徒数	130	115	135	2	382	

II 研究の概要

1. 研究主題

自ら学び、考え、行動できる生徒の育成

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

全学年・全領域（全教科） 【学力＝「生きる力」の向上を目指すため】

(2) 年次ごとの計画

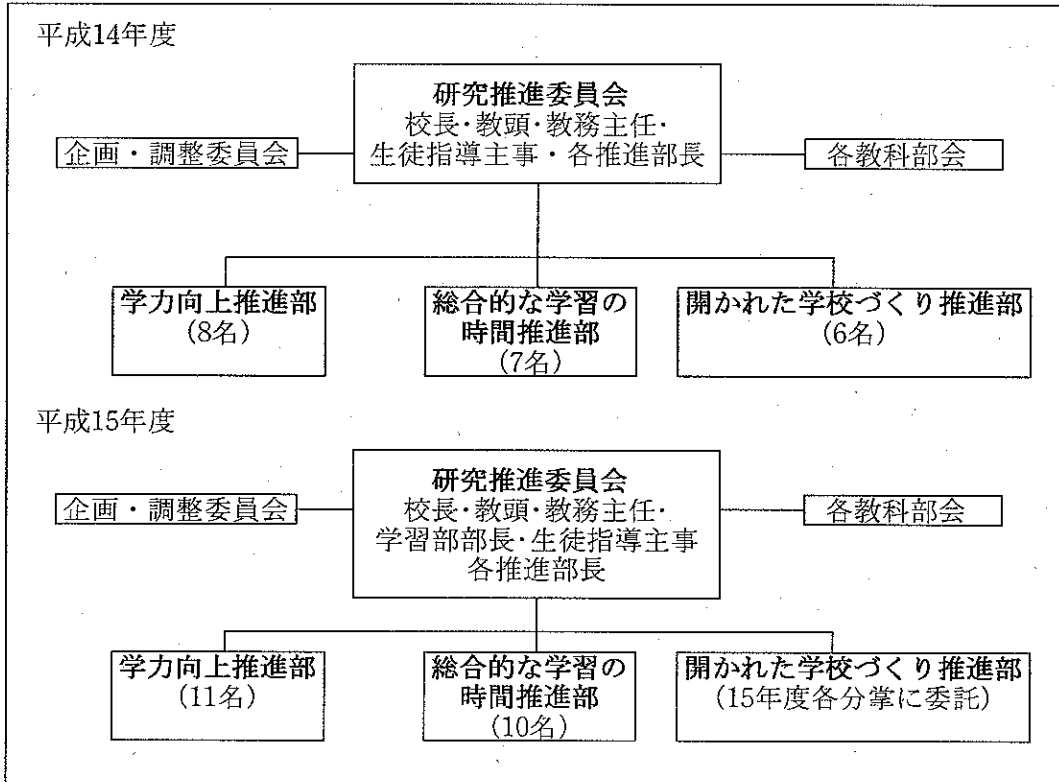
平成 14 年 度	<p>○テーマ 自ら学び、考え、行動できる生徒の育成 ————— 確かな学力の向上を目指して —————</p> <p>○研究の見通し 生きる力＝学力の向上のために、学校の研究体制を整備し、全教職員が協働して研究実践に取り組み、課題解決につなげる。</p> <p>○研究内容・方法 ①学力向上推進（少人数授業、選択授業、学力補充、評価と通知表、学力調査等） ②総合的な学習の時間の推進（カリキュラム作成、朝読書、職業体験学習、人材バンク等） ③開かれた学校づくり（学校HP、学校評価、自由参観日等）</p>
--------------------	---

平成 15 年 度	<p>○テーマ 自ら学び、考え、行動できる生徒の育成 ————— 授業改善を通して —————</p> <p>○研究の見通し 前年度の成果を継承しつつ、少人数指導など、より具体的な学力向上の取組を通して授業改善に取り組む。</p> <p>○研究内容・方法 ①学力向上（指導方法の工夫と改善、指導と評価の一体化） ②総合的な学習の時間の推進：心の教育の充実（道徳、特活、総合的な学習の時間） 昨年度中間報告〔②心の教育の充実（道徳、特活、総合的な学習の時間）〕から変更 名称の変更理由：14年度の総合的な学習の時間推進部の延長上に心の教育の充実を導入した。</p>
--------------------	---

平成 16 年	<p>○テーマ 自ら学び、考え、行動できる生徒の育成 ————— 生徒の変容を検証して —————</p> <p>○研究の見通し 前年度の成果を継承しつつ、生徒の変容を具体的に把握し、「確かな学力」の定着を図る学校教育を創造する。</p>
---------------	---

- 度 ○研究内容・方法
 ①学力向上（生徒による授業評価、）
 ②多様な教育課程の編成と指導法の工夫
 ③副教材づくり

(3) 研究推進体制



III 平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

- ① 平成14年度に研究組織を確立し、本年度も各推進部において教員一人一人が主たる研究テーマを決め研究と実践に取り組んだ。
- ② 少人数指導や選択教科における基礎・基本の指導など、授業方法、内容の改善を図ることができた。また、体験学習を通して、「生きる力」を高められた。
 - ・ **少人数授業**
 第1学年の数学及び第2学年の英語で1学期中間考査までは1学級を二分割して実施し、その後習熟度別コースに分割して授業を展開している。本年度は、習熟度別編成を取り入れ、セレクトコースでは基礎基本を繰り返し学習し、グローバルコース(普通コース)では「なぜ」の問いかけを増やすことで、思考力を高める授業を展開している。
 コースの選択は生徒の希望によるものだが、第1学年の数学でセレクトコース(基礎・基本重視)を選択した生徒が全体の54%を占めたのは予想外であった。少人数ということで、一人一人に時間をかけてかかわることができ、教師と生徒の距離が近くなった。また、生徒個々の発表する機会が増え、学習意欲も高まった。
 - ・ **放課後学習相談の実施（全学年）**
 毎週月・木の2回15:30～17:15の時間帯に学習相談を実施した。
 国語・社会・数学・理科・英語の各教科の内容を個人指導することにより、基礎的・基本的な学力を身に付けさせ、自ら学習に取り組む意欲と習慣を身に付けさせることを目指している。
 - ・ **夏期休業中に学習相談を実施（全学年）**
 7月22日～8月1日、8月18日～29日の計16日間の午前中2時間学習相談を実施し、教科を限定せず基礎・基本の補充を実施した。

・ **選択教科の授業**

第2、第3学年において、英語・数学・国語の3教科で補充学習コースと発展学習コースに分けて実施。また、課題追究コースも設定した(本年度2年国語は補充のみ)。結果、苦手教科の解消及び得意教科の学力向上に結び付いた。

また、興味・関心に応じてコースを選択するので、意欲的に取り組む姿が多く見られた。

・ **総合的な学習の時間**

各学年とも体験学習を中心としたカリキュラムを組んだ。生徒たちが、興味・関心をもって取り組み、「生きる力」を高められた。

③ **学校評価を実施し、生徒や保護者の意見を客観的に数値として把握できた。**
平成15年度も生徒と保護者及び教員を対象に、学校改善を目指したアンケートによる学校評価を実施する。

平成13年度は生徒のみ、平成14年度は生徒・保護者・教員の三者で実施した。その結果を生徒と保護者間における差異、学年間における差異、昨年度との比較など様々な角度から分析した。全体として見た場合、あまり顕著な変化は見られなかったが、学年別に見た場合、大幅に改善された項目もある。今後、我々は生徒、保護者等の建設的な意見や苦言に誠実に対応し、多くを学ぶためにも学校評価を活用し、授業改善等に役立て、学校としての機能を十分に果たしていこうと考えている。

④ **その他**

ア **開かれた学校づくり**

○ **学校自由参観(2年目)**

保護者を対象に、1日の自由参観日を実施する。従来の授業参観だけでなく、休憩時間や清掃、部活動などの活動の様子を参観してもらう。

成果

・少人数授業、選択授業などの様子や生徒の学習態度、校舎設備等について保護者の理解が深まった。

保護者の感想(平成14年度 平成14.11.22実施)

・少人数指導は、大変効果的であると思う。今後もこの制度が続いていくことを希望する。

・学活で、積極的に発言している生徒の姿を見て感心させられた。素直さが感じられてうれしく思った。

保護者の感想(平成15年度 平成15.10.31実施)

・全員が理解するまでとことん指導されていた。とても嬉しい。

・授業を久しぶりに受けた感じになり、とても楽しかった。

・少人数の授業を初めて参観した。とてもよい授業だった。

・授業も分かりやすく、ていねいでよいと思った。

イ **地域人材活用(2年目)**

人材バンクに登録した地域の人や保護者等が、選択授業、進路学習、補充学習、環境美化活動等の支援にあたる。

平成14年度

14名の人材バンク登録。学習サポートとして、選択授業や補充学習(1年生英語)の講師として活動。また、花壇の手入れや図書館の本の整理、部活動などへの支援も行う。

平成15年度

10名の方が人材バンク登録。学習サポート1名(サマースクールに参加)、環境美化支援5名、部活指導支援2名(野球部)、安全指導支援1名、進路学習支援1名で活動。

ウ **教員間の授業公開研修**

平成15.11.21(金)2限 数学科 少人数授業の公開

11.26(水)4限 英語科 少人数授業の公開

平成16.1.29(木)1限 社会科

2.2(月)2限 音楽科

その他全教科を今年度中に実施予定。

2. 今後の課題

○ 課題

本年度は、前年度の研究成果を継承しつつ、少人数指導をはじめ具体的な授業改善を通して、学力向上を目指し研修に取り組んだ。今後は補充教材づくりにも取り組んでいきたい。

IV 学力把握のための学校としての取組

学力調査の実施（1年1回、年度末、1・2年数学、英語、継続して追跡）

CRT (Criterion Referenced Test) (目標に準拠したテスト)

平成15年4月に2・3年の英語・数学で実施 全国比(2年数学:2003.4.14)

数学的思考力(ひらめき)が要求される図形領域以外すべての領域で全国平均を上回っていた。この結果から、本校の生徒の学力は、方法を覚えることによって蓄積された力であって、方法を自分で発見する力が弱いのではないかと思われる。これを克服するのが、今後の課題である。

評価	数学への関心・意欲・態度		数学的な見方や考え方		数学的な表現・処理		数量、図形についての知識・理解	
	本校	全国	本校	全国	本校	全国	本校	全国
A	41%	34%	18%	15%	65%	57%	56%	48%
B	34%	38%	31%	27%	23%	24%	28%	32%
C	25%	28%	51%	58%	13%	19%	17%	20%

領域別内容	本校 得点率	全国 得点率	全国比 全国=100
数と式	80.0%	67.5%	119
図形	55.0%	62.2%	88
数量関係	53.3%	49.9%	107

V フロントィアスクールとしての研究成果の普及

- ・平成15年8月、奈良市教育改革推進フォーラムで研究成果を発表した。
- ・平成14年4月より学校ホームページ開設
(<http://www.naracity.ed.jp/tomigaoka-j/>)

◇ 次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- 【新規校・継続校】 15年度からの新規校 14年度からの継続校
- 【学校規模】 3学級以下 4～6学級
 7～9学級 10～12学級
 13～15学級 16学級以上
- 【指導体制】 少人数指導 T・Tによる指導
 その他
- 【研究教科】 国語 社会 数学 理科
 外国語 音楽 美術 技術・家庭
 保健体育 その他